

施策評価シート

令和 5 年度

総合 体系 計画	分野	3	第3章	住み慣れた地域で支え合い、自分らしく自立した生活ができるまち	施策統括課	生活福祉課
	施策No.	5	施策名	自立を支える生活福祉の充実	課長名 (施策統括責任者)	伊東 孝治
	関係課	生活福祉課				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	市民は、失業や病気などで生活に困窮した場合であっても、最低限度の生活が保障されており、就労支援等によって自立した生活を送ることができるようになっている。
取組方針	生活保護世帯や生活困窮者の実情に応じた支援を行うため、関係機関との連携を強化しながら、セーフティネットとしての生活保護の適正な実施と早期の自立支援に取り組みます。

2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	生活困窮者や生活保護法による生活保護を適用している被保護者						
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	他の社会生活保障制度や就労能力の活用により、生活困窮者の自立や被保護者の生活保護からの脱却を図る。						
成果指標 A							単位
生活保護受給者のうち、就労支援を受け収入増となった人の割合							%
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
49.0	53.0 65.4	58.0 61.0	62.0 53.0	67.0 90.2	71.0 0.0	76.0	
成果指標 B							単位
生活困窮者の自立支援対象者のうち、生活改善が見られた人の割合							%
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
82.0	82.0 84.0	82.0 93.2	82.0 95.0	82.0 50.0	82.0 0.0	82.0	
成果指標 C							単位
-							-
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	
成果指標 D							単位
-							-
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	
成果指標 E							単位
-							-
H30 基準	R1 計画実績	R2 計画実績	R3 計画実績	R4 計画実績	R5 計画実績	R6 目標	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	

施策評価シート

3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	39.1%	38.3%	↓
ある程度重要である	45.4%	45.8%	↑
あまり重要ではない	5.8%	6.0%	↑
重要ではない	1.5%	1.6%	↑
順位	24/36位	25/36位	↓

施策の満足度	前回	今回	
満足している	3.3%	4.2%	↑
どちらかといえば満足	44.4%	43.8%	↓
どちらかといえば不満	26.6%	26.4%	↓
不満である	5.3%	5.6%	↑
順位	16/36位	17/36位	↓

4. 社会潮流等の変化について（第2次総合計画策定時からの市民ニーズの環境の変化、法整備状況等）

- ・新たな支援層の顕著化や孤独・孤立問題の深刻化等、従来の支援ニーズよりも多様化している。
- ・緊急小口資金等の特例貸付の償還が困難な借受人が増加している。
- ・コロナ禍でひきこもり当事者や家族の生きづらさが深刻化している。

5. 施策を推進していく上での新たな課題、新たな視点

- ・様々な問題を抱えた生活困窮者に対し、生活再建に向けた重点的な支援が必要。

6. 施策の課題解決に向けた今後の取組の方向性・内容等

- ・柔軟な相談支援を行うために、自立相談支援機関の体制強化等を行い機能強化を図る。
- ・独自の支援に取り組むNPO法人等と自立相談支援機関が連携し、多様な支援ニーズに対応するための体制強化を図る。
- ・他機関と連携し、訪問等のアウトリーチや家計改善支援事業の活用など、生活再建に向けた支援に取り組む。